

令和4年度 ケース発表会



3年生の授業に「発展的看護展開」があります。“事例研究とは何か”を学んだのち、指導担当教員と看護について語り合い、自分が実践した看護を研究的視点で論文にまとめます。

毎年、この時期に、発表会という形で1、2年生も参加し、丸一日かけて看護について考えを深めています。そこでは、“自己の看護観”を明確にできることを目標としています。

3年生は、発表会に向け、会場準備や発表の練習をおこない、当日は緊張感を持ちながら、堂々と発表をしていました。その姿をみた1、2年生は、圧倒されていました。しかし、その中でも、看護の学びや気づきがあり、全学年が学びあえる会となっています。

先輩方の発表を聴くことができる素晴らしい機会だと思いました。私なりに患者さんのその人らしさを引き出せる看護を提供できるようになりたいと思いました。

1年生より



2年生になり実習を経験したことで、発表を聴かせてもらおうと、看護場面がイメージしやすくなりました。改めて、対象の強みに目を向けた関わりが、大切であることに気づくことができました。

2年生より

